

工 業 用 水 道 事 業 会 計
令和4年度和歌山県工業用水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出
収 入

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1工業用水道事業収益	2営業外収益		千円 823,550	千円 18,690	千円 842,240	
			115,864	18,690	134,554	
		3受託事業収益	15,189	18,690	33,879	

支 出

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考	
1工業用水道事業費用	1営業費用		千円 803,344	千円 29,378	千円 832,722		
			764,436	10,688	775,124		
		1有田川事業費	227,797	9,783	237,580		
		2紀の川事業費	230,810	7,035	237,845		
		3管理センター費	154,574	△13,525	141,049	給料 手当 法定福利費	△5,700 △5,765 △2,060
		5一般管理費	151,254	7,395	158,649	給料 手当 退職給付費 法定福利費	△6,478 △5,612 21,276 △1,791

	2営業外費用		33,894	18,690	52,584	
		2受託事業費	15,190	18,690	33,880	
資本的収入及び支出						
収入						
款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1資本的収入	3国庫補助金		千円 611,531	千円 177,000	千円 788,531	
			—	177,000	177,000	
		1国庫補助金	—	177,000	177,000	
支出						
款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1資本的支出	1建設改良費		千円 1,608,673	千円 △574,998	千円 1,033,675	
			1,598,673	△574,998	1,023,675	
		2有田川第3事業所	16,486	△9,801	6,685	
		3紀の川事業所	1,510,985	△563,230	947,755	
		4管理センター	1,967	△1,967	—	

令和4年度和歌山県工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	13,942
減価償却費	204,848
退職給付引当金の増加	42,301
賞与引当金の減少	△773
その他の引当金の増加	5,169
長期前受金戻入額	△28,808
受取利息及び受取配当金	△78
支払利息	2,501
未収金の減少	8,310
未払金の減少	△25,986
その他流動負債の減少	△26,579
小計	194,847
利息及び受取配当額	78
利息の支払額	△2,501
業務活動によるキャッシュ・フロー	192,424

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△1,312,576
有形固定資産の売却による収入	1,665

無形固定資産の取得による支出	△13,245
国庫補助金等による収入	80,901
未払金の増加	<u>3,000</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,240,255
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債による収入	<u>306,400</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	306,400
資金増減額	△741,431
資金期首残高	<u>3,321,922</u>
資金期末残高	2,580,491

令和4年度和歌山県工業用水道事業予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

	千円	千円	千円	千円
資 産 の 部				
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産		11,864,298		
減 価 償 却 累 計 額		<u>△6,661,066</u>		
有 形 固 定 資 産 合 計			5,203,232	
(2) 無 形 固 定 資 産				
無 形 固 定 資 産 合 計				14,382
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産				
長 期 貸 付 金		<u>1,500,000</u>		
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計			<u>1,500,000</u>	
固 定 資 産 合 計				6,717,614
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金			2,580,491	
(2) 未 収 金			61,000	
(3) 貯 蔵 品			944	
(4) そ の 他 流 動 資 産			<u>21</u>	
流 動 資 産 合 計				<u>2,642,456</u>
資 産 合 計				<u><u>9,360,070</u></u>
負 債 の 部				
3 固 定 負 債				

(1) 企 業 債		306,400	
(2) 引 当 金		<u>198,095</u>	
固 定 負 債 合 計			504,495
4 流 動 負 債			
(1) 未 払 金		70,000	
(2) 引 当 金		16,086	
(3) そ の 他 流 動 負 債		<u>13,959</u>	
流 動 負 債 合 計			100,045
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金		2,276,832	
長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額		<u>△1,621,307</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>655,525</u>
負 債 合 計			<u><u>1,260,065</u></u>
	資 本 の 部		
6 資 本 金			
(1) 資 本 金			
イ 固 有 資 本 金	163,544		
ロ 組 入 資 本 金	<u>4,539,756</u>	<u>4,703,300</u>	
資 本 金 合 計			4,703,300
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	147,572		
ロ 国 庫 補 助 金	54,445		

ハその他資本剰余金	<u>157,842</u>		
資本剰余金合計		359,859	
(2) 利益剰余金			
イ 利益積立金	171,900		
ロ 建設改良積立金	2,681,004		
ハ 当年度未処分利益剰余金	13,942		
ニ 過年度未処分利益剰余金	<u>170,000</u>		
利益剰余金合計		<u>3,036,846</u>	
剰余金合計			<u>3,396,705</u>
資本合計			<u>8,100,005</u>
負債資本合計			<u><u>9,360,070</u></u>

注 記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 10～60年

機械及び装置 2～22年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4ヶ月分）を計上している。

(3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュフロー計算書等に関する注記

該当なし。

III. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県工業用水道事業会計は、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つの事業所を運営しており、各事業所で運営方針等を決定していることから、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

事業区分	事業の内容
有田川第1事業所	工業用水道給水
有田川第3事業所	工業用水道給水
紀の川第2事業所	工業用水道給水

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

（単位：千円）

	有田川第1事業所	有田川第3事業所	紀の川第2事業所	合計
セグメント資産	1,330,016	4,217,451	3,812,603	9,360,070
セグメント負債	137,806	587,295	534,964	1,260,065
その他の項目				
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	51,258	15,932	1,256,958	1,324,148

IV. 減損損失に関する注記

該当なし。

V. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VII. その他の注記

該当なし。